



季節感

『ひっそりと 日陰の溪に 花山葵』
としき

春三月、山々が目覚める頃から自然の恵みを求めて、山菜採りが面白い…
はや五月、ピリリと爽やかな辛さを求めて山に入る…

『花山葵・ハナワサビ』
平成26年5月2日
脊振山系の何処かです
大塚俊樹

※熊洞居人(くま)のつぶやき、今号は都合で休載させていただきます。

◆ご案内◆2014 年度定例総会・自然観察会◆

～生きものの観察を楽しもう～

◇日時 6月29日(日) 10時～12時まで

◇場所 春日公園

詳細は 3ページ参照



◇自然観察指導員講習会のお知らせ◇

2014年度、九州地区では大分県立九重青少年の家にて開催予定。

期間は10/18(土)から10/19(日)です。詳細は(公財)日本自然保護協会にお尋ねください。

電話03-3553-4101か日本自然保護協会でご検索してください。

自然観察などに関心や興味のある人たちに、お勧めください。

★都市公園で自然観察会36★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

★日時 5月18日(日)

集合14時～解散16時

★場所 春日公園・自然かんさつ館

[旧公園管理センター]

※昨年度の定例総会で、観察会を有料にし、参加費を集めることに決まりました。活動経費の補助などに充てます。

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Eメール kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

5/18 (日) 6/15 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松）

5/24 (土) 6/28 (土)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

6/1 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

6/14 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
092-573-1827（森健児）

6/8 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/3 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧公園管理センター前
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

5/25 (日)
膿施山公園（みやま市）
時 間：9:00～
集 合：公園内すいせん橋
問合せ：0944-58-1672（野田）

福岡植物友の会 主催

5/16 (金)～17 (土)
萩・笠山、秋吉台 要予約
参加有料 バスと宿泊費 17000 円程
問合せ：092-575-3131
事務局（北野星二）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

6/7 (第1土曜日)
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200 円（保険料込）
ブログは 三国丘陵 [検索](#) で
すぐにヒットします。



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察会の様子

久留米の自然を守る会 主催

5/18 (日) 第413回例会
高良山の樹木の名札つけ
森林公園～南回り遊歩道半分
～森林公園に戻る
集 合：高良山森林公園前駐車場
時 間：10:00～14:00
参加費：無料
持ち物：帽子、水筒、筆記用具
おわん、お皿、おはし
カップ
（豚汁を用意します）
問合せ：TEL & FAX 0942-44-2986
090-9605-8944（橋田）
fushin@kurumenoshizen.net



ナナフシモドキ幼虫・三国 松永

和白干潟を守る会 主催

5/24 (土)
守る会定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

5/24 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



アオダイショウ 三国・松永

◆ご案内◆2014 年度定例総会・自然観察会◆

～生きものの観察を楽しもう～

◇日時 6月29日（日）10時～12時まで

◇場所 春日公園

※集合場所：春日公園の旧公園管理センター
（自然かんさつ館）前

◇定員 自然に興味を持った人 20名

◇主催：福岡県自然観察指導員連絡協議会（ナイス福岡）

◇連絡先 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765〔FAX 兼用〕

※申込みの際には必ず電話をお願いします。

E メール kurabird-.tamura@nifty.com



◆お知らせ◆ 2014 年度 定例総会

今年度の福岡県自然観察指導員連絡協議会・定例総会を、下記の日程で開催いたします。会員の皆さん、ご参加をお願いいたします。

◇日時 6月29日（日）

13時30分 ～ 15時30分

◇場所 春日公園・旧公園管理センター 2階 会議室

※午前中は、春日公園内にて自然かんさつ会を予定しています。こちらにも是非ご参加下さい。

- ◇議題
- ・2013年度の活動報告と決算案について
 - ・2014年度の活動計画と予算案について
 - ・自然観察指導員の講習会について
 - ・その他

◇連絡先 担当：田村 耕作 TEL 092-400-1765〔FAX 兼用〕

E メール kurabird-.tamura@nifty.com

☆「福岡県生物多様性Web情報サイト」が開設されました☆

（福岡県環境部自然環境課より）

福岡県が、県民へ県内の生物多様性に関する情報を幅広く発信し、生物多様性の保全活動を促進することを目的として、Facebook ページ「福岡県生物多様性Web情報サイト」(<https://www.facebook.com/fukuokabiodiversity>)を開設しました。

このページでは、県の生物多様性保全の取組に関する情報や福岡県 HP において公開している生物多様性関連情報等のリンク集が設けられているとのことで、県は活用および周知への協力を呼びかけています。

・～・春日公園自然観察日記／第35回 2014年4月20（日）・～・

☆春たけなわの自然、微小な自然に大接近！

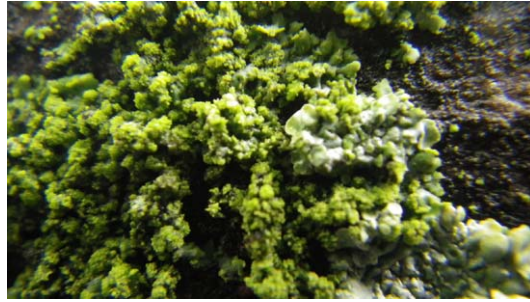
春が一杯の春日公園での自然観察会。4月20日（日）曇り、14時から16時まで開催。案内人も含め4名で、公園内を散策。気温、散策にはちょうど良い具合でした。

ケヤキの樹皮のコケ・地衣類？に目がいききました。昨日の雨のせいか、しっとりした感触。この樹皮、よく見ると小さなナメクジの仲間（多分チャコールナメクジ？）、白い点のように見えた何かの巣（細い糸で覆われていた）、胞子をつけたコケ、などなど、このケヤキだけで散策がおわりそうな位。

ケヤキの樹皮 その1



ケヤキの樹皮 その2



となりにあるくすのきの樹皮、さわるとかさかさして乾燥している。ケヤキの樹皮と大違い。どうしてだろう？

サルスベリのつるつるした樹皮についた緑色のコケを食べたあと、食み跡がくっきり。

ガードレールなどではよく見かけたが、樹皮でこんなにくっきり見かけたに感激。

アケビの花びらがたくさん落ちていた。雌花の花びらが干しブドウに見えた。このミツバアケビ、雄花も雌花もあるのに、実を見かけたことがありません。

イチヨウの雄花がたくさん落下、まるで大発生した芋虫みたいに見えた。

サルスベリの樹皮



地面に一杯ありました



山茶花にやどっているヒノキバヤドリギ、花を探したが見つからず。

湿った斜面には、ムラサキサギゴケが花を咲かせ、離れてみると一面薄紫色

周りの木々の若葉、微妙に少しずつ異なる緑色、楠木の若葉が際立って見えた。萌黄色、鶯色・・・

池で採食中のダイサギの目尻の色、どんな色にみえるでしょう。今は、カワセミの背中のコバルトブルーのように見えた。

林の中、シロハラが餌探しの音、「かさかさ」は春の渡りの音だ。

前回、たくさん見かけたスマレの群落、ものの見事に草刈にあっていた。一言いいたい。「スマレの良さ、わかれよ」

報告 田字草

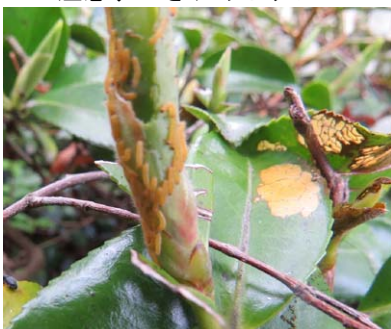
観察会の様子



面白い姿のユズリハ（二世代と花の蕾）



注意すべきチャドクガ



ダイサギの美しい面



採食中のコゲラ



食べもの探し



探餌中のアオサギ



ツルソバの不思議な果実

ちょっと季節をさかのぼりますが、12月半場に志賀島に出掛けた際、あちこちで咲いていた白い花が気になりました。小さな花が金平糖のように丸く集まっていて、ぱっと見はタデ科のミゾソバに似ていました。ですが、花は白いしサイズも一回り大きく違う種のようなようです。そして、なにより花と花の間に実っている果実がとっても印象的でした。夏に食べると涼しげで美味しい水餃子を小さくしたようなイメージで、半透明で葛餅のような表面から黒い中心が透けて見えています。なんだか、とても美味しそうです。味見してみたい思いに駆られました、どんな植物かもわからなくてグッとこらえました。毒だったら危険ですね。とりあえず、その花を写真に収めて調べてみることに。

その植物はツルソバという名前で、やはりタデ科の仲間でした。せっかく図鑑を開いたので、解説を読み進めてみると知らなかった事が満載で驚きました。タデ科の花は花びらがなく、花びらのように見えていたのはガクであること。さらに、私が水餃子のようなと思っていた果実は、落ちずに残ったガクが果実を包んだものだそうです。大切な果実をガクで包み込み、守っているのでしょうか？植物ってすごいですね～！そして、どうしてそんな仕組みが出来あがったのかがとても不思議です。

このツルソバは、海岸近くの林縁に生育するツル性植物で開花時期は5～12月のようなようです。もう開花の時期に入りましたね。近い内に、またどこかで出逢えるかもしれません。

春日市在住 ねこ



